



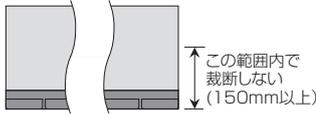
下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。  
**使用前保管時・施工時・養生時** ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

## 1. 下地の清掃

- 砂・塵埃などを除去してください。

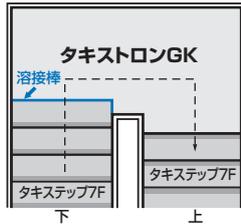
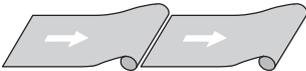
## 2. 割り付け・仮敷き

- タキステップ7F最上段の奥行きは、段鼻側から150mm以内では裁断しないでください。
- 踏み面が短いと、接着剤硬化までの歩行により、タキステップ7Fのスレ、脱落の恐れがあります。



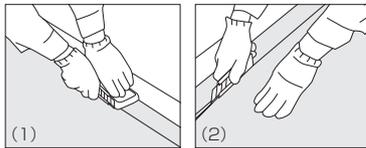
- **タキストロンGKを廊下に施工する時には流し方向に注意してください。**

- **シートには方向性があります。同一方向になるように施工してください。**



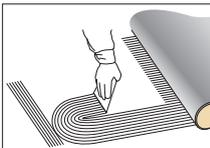
## 3. 壁際の裁断

- (1) 壁際・柱などの裁断は、巾定規・バースクワイバーなどを用いてけがきます。
- (2) けがき線に沿って裏面をアンダーカットしながら裁断してください。



## 4. 接着剤の塗布準備

- 下地に接着剤を塗布するため、タキストロンGKの半分(幅方向)をすれないように折り返してください。



## 5. 接着剤の塗布

- 下地に塗布ムラが生じないように均一に塗布してください。
- クシ山が1/3以上摩耗した場合、三角ヤスリで目立てを行ってください。

標準塗布量

モルタル下地: 300~400g/m<sup>2</sup>  
 非吸水性下地: 250~350g/m<sup>2</sup>

## 6. オープンタイム

- 接着剤を塗布した後オープンタイムを取り、張り付け可能時間内にシートを張り付けてください。
- オープンタイムが短いとガス膨れが生じます。

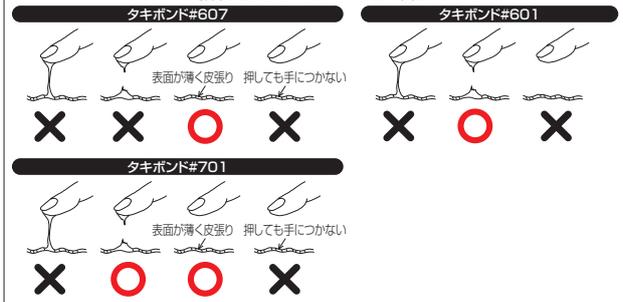
- **オープンタイムを取り過ぎて接着剤が乾きすぎると接着力が低下します。**

- **5℃以下(気温・下地)では使用しないでください。(硬化反応が進みません。)**

オープンタイムの目安(20℃)

接着剤	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンド#607	20~30分	40~50分
タキボンド#701	30~40分	50~70分
タキボンド#601	30~40分	60~70分

指触によるオープンタイムの目安



## 7. 張り付け・エア抜き

- シートにシワを生じさせないように、中央部から丁寧にシートを張り付けてください。
- シート張り付け後、しごき圧着でエア抜きを十分に行った後、床ローラーで圧着してください。



## 8. 圧着

- 壁際及び継目部をハンドローラーやコーナーローラーで十分に圧着してください。

## 9. 養生(1~2日)

- 接着剤が硬化するまで1~2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 接着剤が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため) また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤が硬化するまで、重量物の運搬やキャスター椅子などによる「しごき」を避けてください。

## 10. 継目処理

- (1) 接着剤が完全に硬化してから溝切り機\*等でシート厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けてください。  
 ※推奨:「ユーキリスーパー」
- (2) 熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を溶融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。

溶接条件の目安

設定	アナログ	6~7
	デジタル	400~500℃
スピード	1~2m/分	

- (3) タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部を溶接棒トリマー等で平滑に仕上げてください。



## 11. 端部処理 ※耐水工法の場合

- (1) 仕上がりを美しくするためにマスキングテープで養生してください。
- (2) 気泡を巻き込まないようにシート端部及び壁際に塗布してください。巻き上げ施工の場合は、必要に応じてタキシール#600でアルミアングル部を止水してください。
- (3) 充填後直ちに仕上げ用ヘラで平滑に仕上げてください。
- (4) ヘラ仕上げ後直ちにマスキングテープを除去してください。  
 ※伸縮目地がある場合は目地手前で端部処理を仕上げ、目地を露出させてください。(伸縮目地上にシールを打設すると、シールにひび割れが発生する恐れがあります)  
 ※シールの仕上げり面は、硬化後多少痩せが生じます。  
 ※施工時や養生中に湿度の高い場合や、結露、水滴などにより、シール表面の光沢に差が生じることがありますが、端部処理としての機能に問題はありませぬ。施工日が異なる場合は打継ぎ箇所を目立たない所にするなどご注意ください。

## 12. 清掃

- シート残材・接着剤容器・梱包紙等を片付けてください。
- カッターナイフの折れ刃の回収を徹底してください。

## 13. 養生(2~3日)

- シール材が硬化するまで、2~3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため) また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。(継目にシール材を使用する場合は特にご注意ください。)
- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用する場合は換気を行い、引き渡しまでに数日期間を設ける等の配慮をしてください。
- 重量物の運搬などは、接着剤やシール材が硬化した後、ベニヤ板などを敷いて車輪の跡形や傷を付けないように行ってください。